

## 避難訓練では80点でも不合格です

2024年1月1日16時10分に発生した能登半島地震では245名（4月8日現在）の尊い命が失われました。現在でも皆さんと同じ中学生を含む多くの方々が避難所生活を余儀なくされています。昨年度、本校でも奉仕委員会と生徒会本部が中心となって募金活動を行ったと聞いています。一日も早い復興を祈っています。

能登半島やこの4月に発生した台湾地震がそうであったように、地震や火災などの災害は予告なしに起こるものです。予告なしに訪れる災害に対処するためには、日頃の備えが大切です。「備えあれば憂いなし」という言葉を知っていますか。「準備をしっかりとっておけば、心配することはない」という意味です。本日実施をした避難訓練や消火訓練は、その準備の一つにあたります。

避難訓練がしっかりできたか、これから5つのチェック項目を例として挙げますので、自分自身ができたか、できなかったか確認してください。1項目20点で計算し採点もしてみましょう。100点満点です。どこかで手を挙げてもらいます。

- 1 地震発生時に、机の下にもぐり、頭をかくすことができたか。
- 2 先生の指示に従って、教室を出ることができたか。
- 3 教室から、この避難集合場所に来るまで、素早く行動できたか。
- 4 教室から、この避難集合場所に来るまで、おしゃべりをしなかったか。
- 5 避難経路（ここまで来るために通るコース）を確認することができたか。

※ 挙手による確認（20点・40点・60点・80点・100点）

テストなどで、100点中80点とると、まあまあよくできた（とてもよくできた）と通常は考えると思います。でも、避難訓練では80点でも不合格です。合格は100点のみです。それは、みなさんの大切な命がかかっているからです。

みなさんが学校にいる間、学校はみなさんの大切な命を預かっています。ですから、災害が起こった時、学校はみなさんの安全を最優先にします。3月には、震度3ではありましたが、揺れの大きな地震が発生しました。この時、富士見中学校では、皆さんの安全を第一に考え、校庭に避難しました。集団が安全な避難行動をするには、常に意識を高くもっておく必要があります。そのためにも、本校ではショート避難訓練を年間10回ほど実施する予定です。皆さんの安全を守るための大切な訓練です。

本日の消火訓練では消防署の方々にご来校いただきました。ありがとうございました。避難訓練の講評は以上です。

熊谷市立富士見中学校長 田沼良宣